

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3571000318		
法人名	医療法人 やよい		
事業所名	グループホーム よりさんせ		
所在地	山口県光市三井6丁目18-1		
自己評価作成日	平成22年7月31日	評価結果市町受理日	平成23年3月28日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度ホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://kaigosip.pref.yamaguchi.lg.jp/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 やまぐち介護サービス評価調査ネットワーク		
所在地	山口県山口市吉敷下東3丁目1番1号 山口県総合保健会館内		
訪問調査日	平成22年9月29日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>待つ介護を基本とし、それぞれの入居者様に合った自立支援を心がけている。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>利用者や職員がゆっくりできる機会が設けられており、職員は利用者の話に耳を傾け思いや希望の把握に努められ、一人ひとりの状態や思いにそった待つ介護を基本として支援されています。運営者が医師で、隣接する有床診療所が協力病院となっており、医療の支援体制を確立しておられます。利用者の病状の変化には即対応が可能で、往診や受診・相談・助言・指導などが適切に行なわれ、家族への説明も医師がしておられ、家族や職員の安心にも繋がっています。ターミナルケアへの対応は「重症化対応・看取りに関する指針」により、家族と事業所間で共通理解が図られており、家族や本人の希望により、看取りにも対応しておられます。気分転換の為の外出支援にも工夫が感じられ、毎年、一年に一回は、職員と利用者が一緒に一泊2日の旅行をされ、温泉や食事を楽しんでおられます。</p>
--

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに 印	項目		取り組みの成果 該当するものに 印
57	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	64	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
58	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	65	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
59	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
60	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員は、生き生きと働けている	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	69	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
63	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所内に、全員で話し合い作った理念・ひとり一人の目標を掲示し、実践に向けて取り組んでいる。	全職員で5つの項目からなる地域密着型サービスとしての事業所独自の理念を作成し、管理者と職員はその理念を確認し、共有しながら実践に取り組んでいる。	
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入し、地域への行事に参加したり、交流することに努めている。	自治会総会へ参加しグループホームや福祉についての情報提供を行ない、2ヶ月に1回地域向けホーム便りを作成し、地域内への回覧や店舗、診療所等へ配布し、紹介をしている。地域の盆踊りやホームで行う敬老会は相互に参加しあって交流し、ボランティアとの交流も行なわれている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている			
4	(3)	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	定期的な研修会を通じて、評価に対して対応しているが、評価ありきではなく、自からの積極的な姿勢を重要視している。	運営者、管理者、職員は共に評価の意義を理解しており、それぞれの立場で評価に関わり、昨年の評価結果を活かして苦情相談の外部機関を明示するなど、具体的な改善に取り組んでいる。	
5	(4)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	状況報告、行事報告をし、意見交換を行い、サービス向上に活かしている。	民生委員、地区社協職員、いきいきサロン会長、消防団、地域包括支援センター職員、利用者、家族、管理者、職員のメンバーで2ヶ月に1回開催している。現状や行事の報告の後、意見交換を行い、それらの意見はサービスに活かされている。	
6	(5)	市町との連携 市町担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市の担当者と連絡を取り合い、相談し助言を受けている。	市の担当課と連絡を密にとり、相談、助言を得ている。	

グループホーム よりさんせ

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7	(6)	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	居住空間をフリー状態にすると共に、周辺環境整備にも協力し、地域の一住民としての環境を整えている。	身体拘束をしないケアについて話し合いを行い、拘束のないケアに取り組んでいる。玄関は施錠せず、自由に入出入り出来る。	
8		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている			
9		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している			
10		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分な説明を行い、理解を得よう努力している。		
11	(7)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等からの相談、苦情の受付体制や処理手続きを定め周知するとともに、意見や要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている		家族の来訪が多く、来訪時に家族の要望、意見を聴いており、電話や運営推進会議でも意見や要望を聞き、運営に反映させている。第三者委員を選任し、外部機関を玄関に明示している。	苦情処理手続きの明確化
12	(8)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	研修会を通じて、細部に至るまで、綿密な意見の反映が実現できるように気配りをしている。	毎月1回カンファレンスを18時頃から22時頃まで職員の全員参加で行っている。意見やアイデアは自由に提案出来る雰囲気があり、出された意見は試行しながらサービスに反映させている。	
13		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境条件の整備に努めている	原則的にパート採用をなくし、常勤にすることによって積極的な向上心の育成に取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14	(9)	職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくを進めている	研究会、講演会への積極的な参加を通じて、基礎、応用の実力を養っている。	カンファレンス時に時期に応じた研修を行い、法人内研修や外部研修に参加した職員は復命や伝達講習を行い、参加できなかった職員も情報を共有している。外部研修参加を推奨しており、職員は資格取得にも取り組んでいる。	
15		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	ネットワーク研究会に職員が一丸となって参加し、交流をはかっている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
16		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の話をしっかり傾聴し、いつも側に職員がいるので安心であることを説明する。		
17		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族が困っていること、不安なこと、要望等をしっかり傾聴し、共感しながら、いっしょに支援していきましようとして声をかけ、安心してもらう。		
18		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前に、家族、本人と面接し、要望等をしっかり傾聴し、適応性を判断する。また、見学をしてもらい、雰囲気や直接肌で感じてもらう。結果、要望に対応できない場合は、他のサービス利用も含めた対応をする。		
19		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	体調や、身体機能を考慮し、手伝いをお願いしている。配膳、盛り付け、洗たく物干し、花壇の草引き、水やりなど。また、日々の会話の中で、昔の習慣や知恵など教わりながら、生活を共にする者同士の関係を築いている。		

グループホーム よりさんせ

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
20		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族と連絡をとり、お願いごと、困りごとの報告、相談だけではなく、うれしい事、楽しい事の報告をし、喜びを共有している。		
21	(10)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族や、知人の面会があれば、居室でゆっくり過ごせるよう配慮している。また、季節のあいさつ状を手作りしたり、行事等の写真を入れた広報誌を送付している。	家族や知人の訪問時には、居室で気がねなく過せるように配慮し、面会を推奨している。利用者の作品を葉書にして送ったり、ホーム便りの送付等で関係が途切れないような配慮をしている。神社やお寺の参詣など馴染みの場所へのかかわりも支援している。	
22		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ホールで過ごす時間が多く、様子を見て、スタッフが間に入って声をかけ、補足や代弁をして、利用者同士が良い関係を保てるよう支援している。		
23		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了後も、本人や家族の経過を見守りながら、必要に応じて相談や支援をしている。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
24	(11)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	よりさんせ会というお茶会を設け、本人の思い、希望を聞く機会をもっている。	2～3ヶ月に1回「よりさんせ会」というお茶会を設け、手作りおやつや少し豪華なおやつで利用者と職員でゆっくりする場を設け、利用者の話に耳を傾け、思いや希望の把握している。一対一の入浴介助や個別対応する時は思いや気持ちを具体的に聞き、困難な場合は本人本位に対応している。	
25		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前にも面会し、ご家族、ケアマネからの情報収集を行っている。		

グループホーム よりさんせ

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
26		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	心身の状態は特に注意を要し、個人記録でもペンの色を変えて状態の把握に努めている。		
27	(12)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアカンファレンスを開き、主治医、家族にも意見を聞き、介護計画を作成している。	家族、主治医の意見を聴き、毎月1回実施するケアカンファレンスで職員全員が集まり、介護計画を作成している。初回の利用者は1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月毎に見直しを行い、後は期間に応じ3ヶ月、6ヶ月の見直しを行ないながら介護計画を作成している。ターミナルの利用者は毎週、その他状況に変化が生じた時はその都度見直しを行なっている。	
28		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録に記入し、状況に変化が生じた場合は、見直しを行っている。		
29		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる			
30		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している			
31	(13)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	症状に応じて、それぞれの専門医を受診している。	事業所の運営者でもあり協力医療機関でもある医師をかかりつけ医としており、状態の変化に応じ、往診、受診、相談、助言などの医療支援が適切に行われ、重症化やターミナルにも対応している。専門医への受診もかかりつけ医の紹介により、適切に行なわれている。	

グループホーム よりさんせ

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		<p>看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日常より利用者様に関わり、看護の必要性に応じて、早急に対処し、病院の看護師とも連携している。</p>		
33		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>利用者様の状況(異変)を、病院側にも常に把握してもらい、緊急時にはすぐに対応してもらっている。その為にも日頃より情報交換は常に行っている。</p>		
34	(14)	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>本人、家族の方々、病院、看護師、介護者が常に情報を共有し、(可能であれば)本人、家族の思いを支援している。</p>	<p>「重症化対応・看取りに関する指針」により、家族と事業所間で共通理解が図られており、家族や本人が希望すればターミナルに対応する。現在、1名のターミナルケアを実施している。</p>	
35	(15)	<p>事故防止の取り組みや事故発生時の備え 転倒、誤薬、行方不明等を防ぐため、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組むとともに、急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身につけている。</p>	<p>定期的に行っている勉強会などで、事故など、急な場合でもすぐに対処できるよう、学習をしている。</p>	<p>マニュアルがあり、ヒヤリはっと・事故報告書に記録し、対応策を話し合い、介護計画にも反映させて、事故防止に取り組んでいる。定期的な勉強会を行い、事故発生時に備えている。</p>	<p>・ヒヤリはっと様式の検討</p>
36	(16)	<p>災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>常日頃より、避難訓練を行い、口頭でのシミュレーションなどを行っている。</p>	<p>年に2回、法人全体で夜間を想定した避難訓練を行い、事業所では口頭で避難のイメージ訓練を行っている。川が近くにあり、洪水時の避難場所の検討や、運営推進会議で地域の人々の協力が得られるように働きかけている。</p>	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
37	(17)	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	出来ている。	利用者一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応はしないよう、職員全員が気をつけている。	
38		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	出来ている。 要望や希望があるか、常に聞くよう心掛けている。		
39		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	出来ている。 無理強いはしないようにしている。		
40		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	出来ている。		
41	(18)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	楽しみながらの食事の準備等が心身共にだんだん難しくなっているが、簡単な事は手伝ってもらっている。	冷蔵庫の食材を見ながら利用者と話し合っその日の献立を決め、主菜、副菜2品、汁を基本にした食事作りをしている。三食共に事業所で調理し、準備や盛り付けを利用者と職員で一緒に行なっている。利用者と職員が同じ食事を食べながら、さりげなく食事介助が行われ、食材や食事に関する話など、和気あいあいの雰囲気です事を楽しめるよう支援している。	
42		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	出来ている。		
43		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	それぞれに合うような口腔ケアをしている。		

グループホーム よりさんせ

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
44	(19)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを知り、自立支援に向けた援助を行なっている。	一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレ誘導や声かけをして、紙おむつやパット、ポータブルトイレについて、自立に向けた支援を行っている。おむつを使用していた利用者がポータブルトイレで対応出来るようになった事例もあり、個々に応じた対応をしている。	
45		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分量の調整、運動量など、個々に応じた予防に取り組んでいる。		
46	(20)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	体調や排泄の確認を行い、ご本人の希望に応じ一人ひとりゆっくり入浴していただいている。	毎日午前と午後入浴可能である。体調や希望に合わせて、ゆっくり楽しく入浴できるよう支援をしている。入浴を嫌がる利用者にはタイミングを見計らったり、シャワー浴や清拭で対応するなど、個々に応じた対応をしている。	
47		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	温度、湿度の管理を行い、気持ちよく眠れるよう支援している。		
48		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の情報を個人記録にファイルし、情報を共有している。		
49	(21)	活躍できる場面づくり、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	料理の盛り付けのお手伝いや、畑、花壇の花の手入れなど、実施している。	洗濯物干し、干し柿作り、料理の盛り付けや配膳、習字、体操、花壇の手入れ、草取り、誕生会、花見、花火大会、ひな祭り、動物園など、日常の家事活動、レク活動、趣味活動、様々な楽しみ方が出来るよう支援をしており、各種ボランティアとのふれあいも楽しみにしている。	
50	(22)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している		近くの散歩、季節の花見、外食、スーパーでの買物等出かける機会を設けている。職員と利用者全員で1泊旅行をし、温泉と食事を楽しんでいる。	

グループホーム よりさんせ

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一人ひとりの力に応じて、お金を所持し、外出時に使っている。		
52		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	年賀状や暑中お見舞いの他に、近況を知らせる手紙のやりとりができるよう支援している。		
53	(23)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	温度、湿度に配慮し、静かで明るい環境を提供している。	共用空間の温度や明るさ、広さは適切で、畳の間も備え洗濯物の取り込みや整理などに使われ憩いのある空間となっている。居場所も確保され、利用者はそれぞれの場所で会話やテレビを楽しんでいる。居間に隣接する食堂は戸外に面し明るく伸びやかな空間で、玄関からは河畔に接する遊歩道が見え、玄関横の花壇では、季節の花も楽しめる。	
54		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	自分の座る椅子(場所)があり、テレビを観たり、会話している。		
55	(24)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの家具を持ち込んでいただき、家族の写真や飾りなど、居心地よく過ごせる工夫をしている。	備え付けのクローゼットがあり、馴染みの家具、ベッド、鏡台、テレビ、机、時計等が持ち込まれている。家族の写真や小物を飾り、書き物をしたり、本人が安心して居心地よく過ごせるよう配慮している。	
56		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している			

2. 目標達成計画

事業所名 グループホームよりさんせ

作成日: 平成 22年 3月 1日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	全ての職員が急変時や事故発生時に備えて定期的な訓練を行っていない。	緊急対応、初期対応の定期訓練を行い実践力を身につける。	運営母体の法人の看護師と計画を立て緊急対応の講習を行う。	1年
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。